



足立区



平成24年度 当初予算案発表

# 明日のために 時代の変化に挑む!

平成24年1月24日(火) 午後2時00分～  
足立区役所 南館8階 特別応接室

## 《 次 第 》

- 1 平成24年度 予算編成方針
- 2 鉄道高架化工事スタート!  
踏切のない安全な「竹の塚」へ ..... 1
- 3 新たな高齢者施策の展開  
時代に即した事業の見直しを進めます ..... 2
- 4 ジェネリック医薬品の普及  
医療費の適正化を図ります ..... 4
- 5 地域のちからを着実に育むために  
..... 5
- 6 学力・学習意欲向上に向けて  
学びの機会の充実を図ります ..... 8
- 7 区制80周年  
..... 別添
- 8 質 疑

【担当】広報室 報道広報課 03(3880)5816

# 鉄道高架化工事スタート

## 踏切のない安全な「竹の塚」へ

### 鉄道立体化の促進事業 1,564,494千円 (P49)

東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道を高架化するために、都内初の区施行による連続立体交差事業の工事に着手します。本事業により、交通の安全性、利便性を向上させ、駅東西の一体的なまちづくりを推進します。平成24年度は、鉄道高架化工事および区画街路第14号線の用地取得などに着手します。

### 竹ノ塚駅付近 鉄道高架化に伴う効果

2箇所の「開かずの踏切」  
ピーク時遮断時間 約58分/時

東西分断による日常生活の阻害

踏切事故の危険

- ・回遊性のある歩行者空間の確保
- ・東西交通の円滑化
- ・地域分断の解消
- ・踏切事故の解消
- ・防災性の向上

鉄道高架化および  
交通広場の整備等

### 平成24年度事業内容

#### 【鉄道関連事業】 845,123千円

- ・鉄道高架橋の設計を進めるとともに、工事説明会を行い、秋頃、工事に着手します。

#### 【用地補償】 705,971千円

- ・春に用地補償説明会を行い、必要な調査を実施した上で、用地取得等を進めます。

#### 【まちづくり関連事業】 13,400千円

- ・地区計画策定に向け、まちづくり計画の作成を進めます。

#### 【問合せ先】 鉄道高架化に関すること

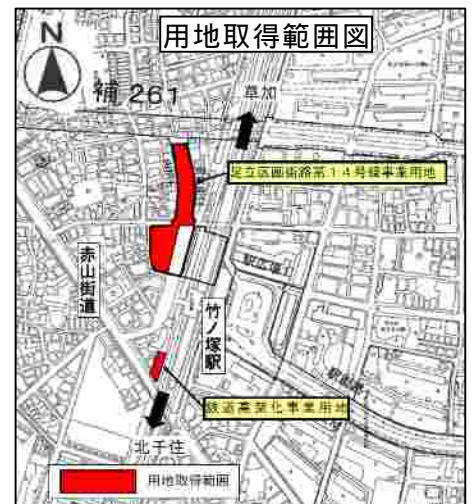
鉄道立体推進室 鉄道立体化担当課長 小原 誠司

電話(3880)5484

まちづくりに関すること

鉄道立体推進室 竹の塚整備推進課長 高橋 茂

電話(3880)5250



# 新たな高齢者施策の展開 時代に即した事業の見直しを進めます

高齢者人口は急増しています。70歳以上の足立区民は、昨年度10万人を超え、平成24年度には11万人を超える見込みです。今後も高齢者人口は増加の一途が予測されるほか、ニーズも多様化しています。

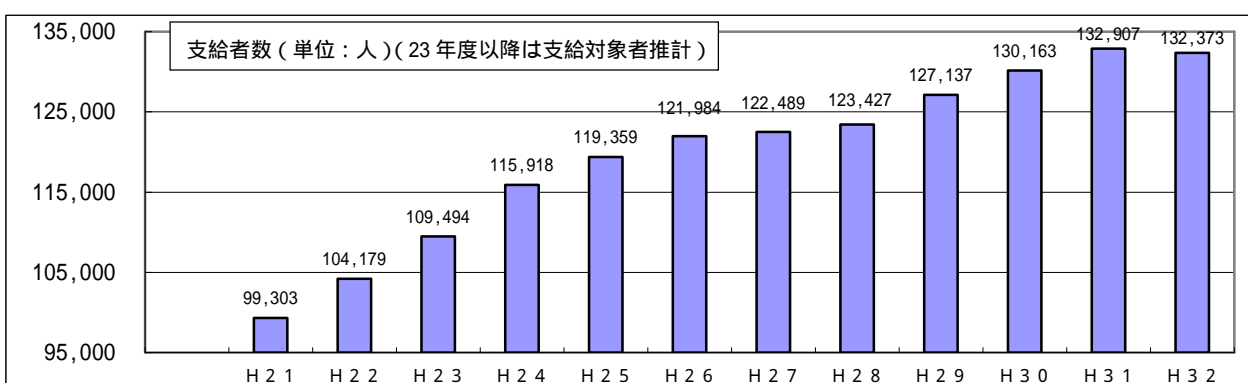
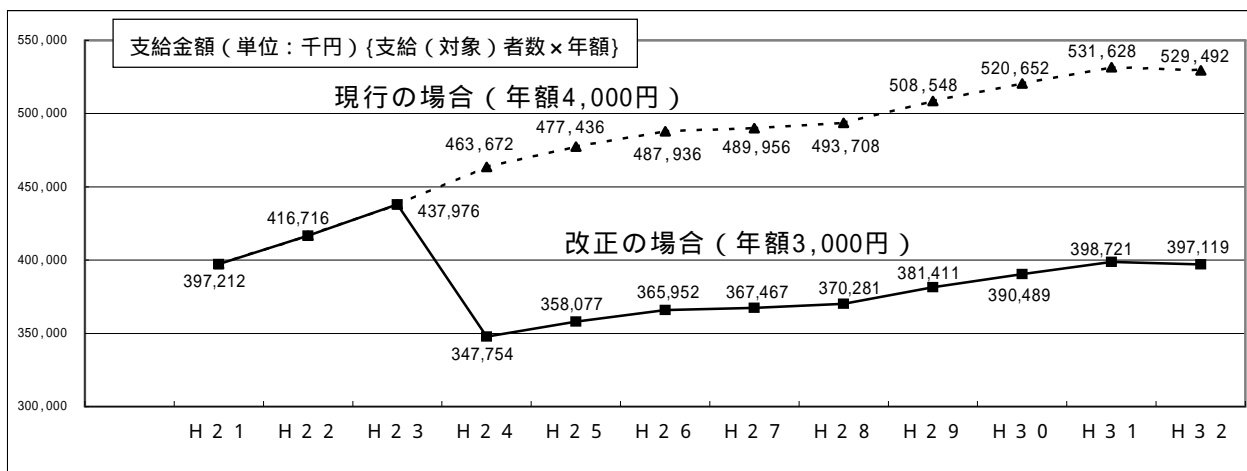
こうした環境の変化に即した施策を展開するため、事業の見直しを進めていきます。

## 生きがい奨励金支給事業の見直し 382,817千円 (P45)

生きがい奨励金の支給額は、年額4千円を年額3千円に見直します。

見直しにより生まれた財源を高齢者の健康支援に活用し、65歳以上の区民を対象とした、大人用肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業を平成24年度より新たに実施します。

### 《生きがい奨励金の支給実績及び今後の推計》



生きがい奨励金・・・毎年8月1日現在、区内にお住まいの70歳以上の方が対象。

11月初旬に支給額と同額の区内共通商品券を簡易書留で発送。

【問合せ先】地域のちから推進部 地域文化課長 鈴木 伝一  
電話 (3880) 5985

# ワクチンの接種で、 高齢者を肺炎重症化から守ります！



足立区では毎年500人以上の方が肺炎で亡くなっています。(平成19～22年度)  
このうち、65歳以上の方が9割以上を占めています。  
高齢者の肺炎重症化を予防するために、大人用肺炎球菌ワクチンの接種費用助成を行い、  
ワクチン接種を促進していきます。

## 大人用肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業 概要

	概 要
対 象	接種日現在、65歳以上の区民(1人1回限り) 対象:約155,000人
	接種日現在、60歳以上65歳未満の区民で、心臓やじん臓・呼吸器等の内部障がいがある身体障害者手帳1級相当の方 対象:約300人
接種場所	区内契約医療機関(区外接種は公費助成の対象外)
実施時期	通年(ただし、24年4月1日～9月30日の接種分は、接種の領収書と9月末に区から送付する予診票をもって、助成分を区内共通商品券で還付)
助 成 額	4,000円 接種費用の半額程度。生活保護受給者は自己負担なし
想定接種率	18%(先行実施している区の平均がおよそ18%) 約28,000人が接種
効 果	<b>医療費削減効果 約5億円(接種率18% 接種率100%で約28億円削減効果)</b> 国の予防接種部会が、日本のすべての高齢者が接種した場合の医療費削減効果を5,115億円と算定しています。これを足立区の高齢者人口で按分し、想定接種率を掛け合わせると、足立区の肺炎医療費は約5億円削減する効果が見込めます。
周知方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区広報等で周知</li> <li>・ 対象者は高齢者インフルエンザ予防接種と同じため、高齢者インフルエンザ予診票に大人用肺炎球菌ワクチン予診票を同封して個別送付。</li> </ul>

【問合せ先】衛生部 足立保健所保健予防課長 井元 浩平  
電話(3880)5892

# ジェネリック医薬品の普及 医療費の適正化を図ります

## ジェネリック医薬品の普及 【新規】10,164千円 (P47)

ジェネリック医薬品を普及させ、医療費の適正化を図るため、以下の取り組みを行います。

都内市区町村 初

### 【ジェネリック医薬品普及協議会の設置】 524千円

ジェネリック医薬品普及協議会を設置し、関係機関の情報共有を図るとともに、普及のための課題を検討し、区全体として普及に取り組んでいく場とします。

#### 協議会の構成

区医師会・区歯科医師会・区薬剤師会・区内の中核病院の代表者・有識者等22名で構成



#### スケジュール

第1回は平成24年2月2日に開催、平成24年度は3回程度開催する予定

#### 協議会参加の中核病院では他の医療機関に先駆けて利用を推進

協議会では博慈会記念総合病院など区内中核病院の病院長5名が委員になっています。この5つの病院では、区の他の医療機関に先駆けてジェネリック医薬品の利用を進めていきます。

### 【ジェネリック医薬品差額通知】 9,640千円

平成24年12月(予定)に国民健康保険加入者に対して、服用中の薬をジェネリック医薬品に変えた場合の薬代の自己負担額の差額(9月の1か月分)をお知らせします。対象は、約80,000人。



### 使用率の目標と薬剤費抑制効果

足立区国民健康保険のジェネリック医薬品使用率(数量ベース)は22.6%ですが、平成26年度末までに30.0%とすることを目指します。

これにより、平成26年度末には、平成23年度比較で、国民健康保険を含めた区の薬剤費の抑制効果が約2億4千万円になります。

【問合せ先】区民部 医療制度改革担当課長 秦 章雄  
電話(3880)5851

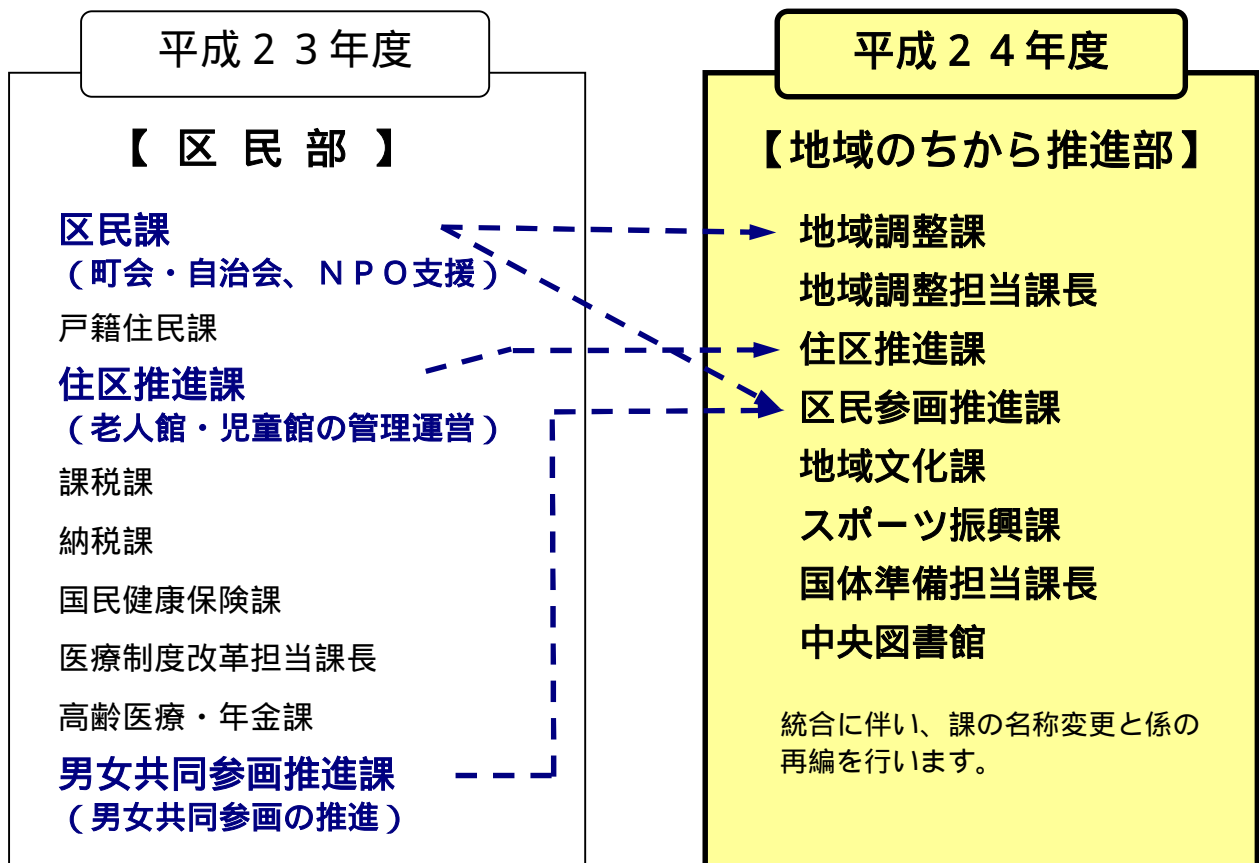
# 地域のちからを着実に育むために

この1年は「絆の結び直し」をテーマに、地域の諸団体と連携強化を図りながら、人材の育成、活動の場の提供などを通じて、新たな絆の結び直しを目指してきました。

平成24年度は、組織を再編し、町会・自治会、住区施設などの地域活動支援と、生涯学習支援の部署を「地域のちから推進部」に結集し、地域の中で芽生えつつある「地域のちから」を育み、様々な地域課題を解決するための支援をしていきます。

## 地域のちからを高めるための組織づくり

町会・自治会、NPO、住区施設などの地域活動を支援する組織を「区民部」から「地域のちから推進部」に移管することにより、「絆」の結び直しを行うための組織体制を整え、「地域のちから」を着実に育てていきます。



## 高齢者の安心生活を支える取り組みを応援 12,022千円 (P30)

高齢者がいつまでも地域で安心して暮らしていけるよう、あんしんネットワーク事業の拡充と住民主体の支えあい活動を支援していきます。

### 【足立あんしんネットワーク事業】7,022千円

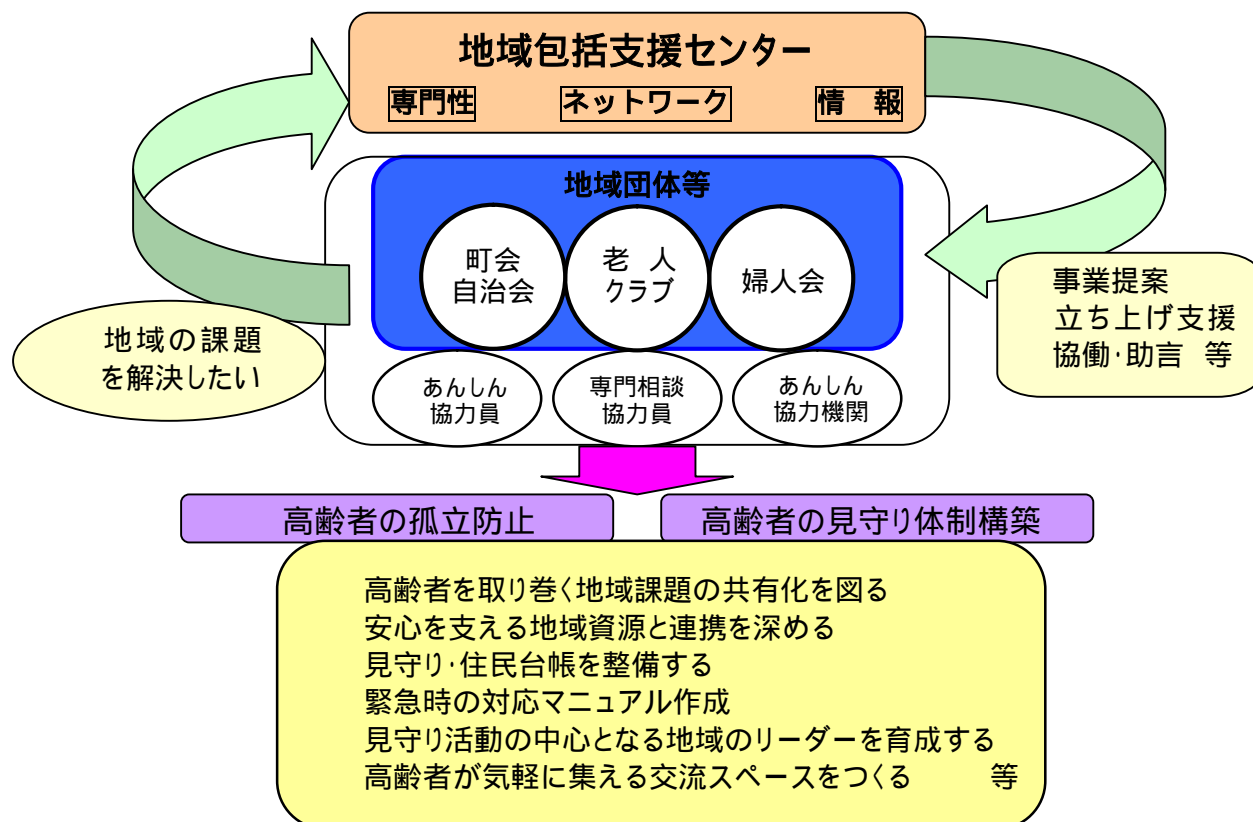
足立区では、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、「足立あんしんネットワーク事業」を展開しています。区内25か所の地域包括支援センターを中核とし、専門相談協力員（民生委員）、地域のボランティア、各種団体が連携し、一人暮らし高齢者や高齢者世帯等の抱える問題を早期に発見し、定期的な見守りや必要なサービスの利用につなげています。ネットワーク拡大のため、あんしん協力員・あんしん協力機関の登録を勧奨します。

### 【高齢者見守り支援事業】5,000千円〔新規〕

あんしんネットワーク事業ではカバーしきれない網の目の隙間を埋めるのは、高齢者の日常生活に最も身近な地域の支え合う力です。

平成24年度は新たな取り組みとして、あんしんネットワーク事業の面的な拡充を図るため、町会・老人クラブ等が主体となって取組む高齢者の孤立防止や見守り体制づくりを、地域包括支援センターが積極的に支援します。（平成24年度5か所予定）

支援にあたっては、あんしんネットワーク関係者と協働することで、ネットワークの一層の強化を図ります。



【問合せ先】福祉部 高齢サービス課長 金子 敬一  
電話 (3880) 5886

## いのち支える寄り添い支援事業 【新規】64,998千円 (P34)

地縁・血縁が薄い都市部では、その人を気遣い、サービスにつなげる手伝いをする人がいないと、複数の悩みを解決することができずに悩み続け、自殺に追い込まれてしまう可能性が高まってしまいます。そこで、様々な生活上の困難を抱える自殺念慮のある区民に対して、パーソナルサポーター(P S)による寄り添い支援を行い、新たな一歩を踏みだすお手伝いをします。この支援により、足立区がこれまで進めてきた自殺対策の都市型モデルをさらに進化させ、自殺に追い込まれない生き心地のよい社会をつくります。

### パーソナルサポーターとは... 相談者に寄り添い、つなぐ「人」

#### 【事業内容】

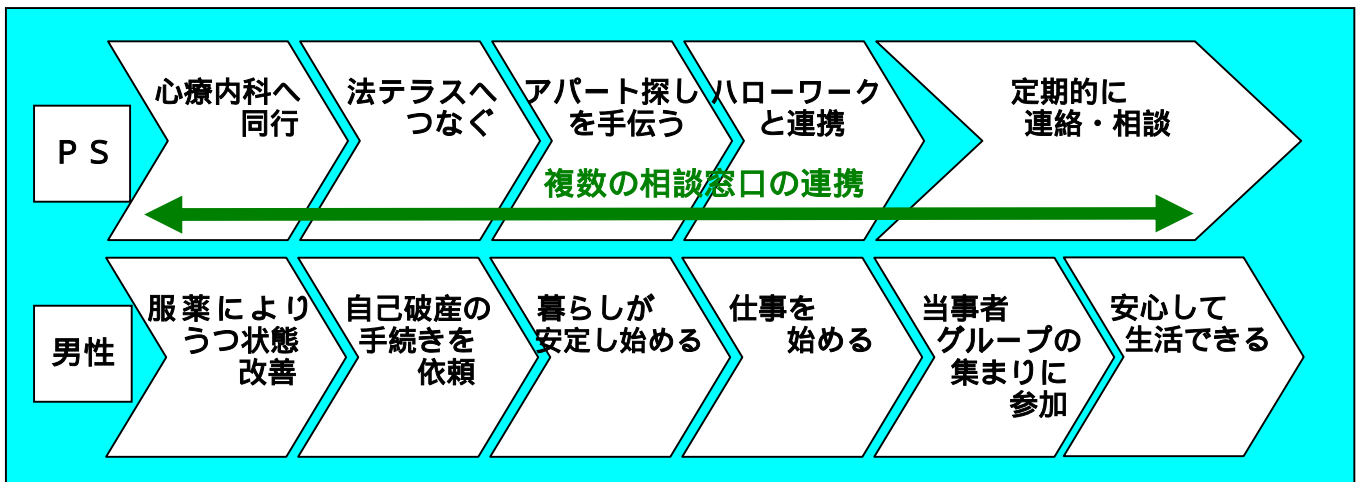
様々な生活上の困難を抱える自殺念慮のある区民に対し、パーソナルサポーター(P S)が各相談窓口に同行して支援(心療内科への同行、法テラスへの同行など)複数の専門相談窓口の連携で生活破綻を食い止め社会参加を促す  
緊急的な個別対応で自殺を防止  
国の生活再建支援等のモデル事業を活用し、N P O法人に委託して実施  
パーソナルサポーター6人程度

#### 【支援対象者】

雇用・生活・こころと法律の総合相談会等の相談者から支援が必要な人を選定  
初年度は年間60人程度を予定

#### 【パーソナルサポーターによる支援の流れ】

30代男性の相談者の例  
仕事、住居を失い、インターネットカフェに寝泊り。多重債務。  
生きる希望をなくし「死んでしまいたい」と相談あり。うつ状態に陥っている。



事例をデータ化して積み上げ、分析 社会的リスクの発生源等を明らかにし、対策に活かす  
区民や関係者が利用可能な社会資源情報を整理し「足立区版いのちと暮らしの相談ナビ」に登録

【問合せ先】衛生部 こころといのち支援担当課長 馬場 優子  
電話(3880)5432



# 学力・学習意欲向上に向けて 学びの機会の充実を図ります

## 学力の向上を目指して、学びの機会を拡大

【足立はばたき塾】 38,286千円〔新規〕 (P16)

**もっと勉強がしたい** という生徒をバックアップ!!



学習意欲が高く、都立の進学指導重点校などを目指す成績上位者で、経済的理由などにより塾等の学習機会の少ない生徒を中心として、民間教育機関を活用した指導力の高い講師による学習機会を提供し、更なる学力向上を目指していきます。

【対象】 中学3年生100人(25人×2クラス×2会場)

各学校で募集した後、学力診断テストを実施し、対象生徒を選定

【内容】 数学と英語の2教科を毎週土曜日の定期講座(2月までの最大46日)と、夏休み(10日程度)・冬休み(5日程度)の集中講座を実施。

【実施場所】 千寿本町小学校、島根小学校の2会場で実施予定

【委託先】 指導力の高い講師を確保するため、事業の委託先はプロポーザル方式の提案を受け、民間教育機関等から選定。

【あだち小学生基礎学習教室】 109,295千円 (P16)

## 学習の基礎を固め、学力の向上を目指します

原則小学3・4年生を対象に、放課後等の時間を利用して、四則計算などの基礎的な学習をします。基礎的な内容を繰り返し学習するため実施回数を増やすとともに、学習内容にあった児童に絞り込み、少人数指導の教室として学習効果を高めます。

【対象】 小学3・4年生

【内容】 算数(四則計算の基礎)、国語(漢字の書き取り)

【回数】 水・土曜日に年間30回

【指導時間】 1回につき90分程度

【参加児童】 1,420人(見込)



シンボルキャラクター  
「すいーぬくん」

### 見直しポイント

年間25回 30回程度に拡充

小学3・4年生各15人計30人

小学3・4年生あわせて20人に絞込

【問合せ先】 学校教育部 教育指導室長 泉崎 直之

電話(3880)5973

## 子どもたちの学びや学習意欲向上のため、区内大学等と連携

【大学連携学習支援ボランティア】 39,192千円〔新規〕 (P22)

**自主的に勉強がしたい** という児童をバックアップ!!

希望した児童が自主的に学習できる場として放課後の小学校図書室を活用するとともに学習の支援をする大学生ボランティアを派遣します。

[対 象] 全小学生

[内 容] 児童の望む学習への支援、指導（宿題・復習・予習等）

原則として放課後の午後3時～5時に、各小学校図書室で実施

[実施方法] 1校につき原則2名の大学生ボランティアを派遣（週3日程度）

【問合せ先】 学校教育部 学校支援課長 山杉 正治

電話（3880）5970